

## 九州労組への檄

ろうきんセントラル労働組合  
執行委員 山口 美幸

九州労金労組の2014春闘方針において、特に嘱託職員の産前産後休暇に関する要求に対し、女性の立場から大変共感いたします。セントラル労組においても、雇用形態に関係なく、多くの方が出産・育児をされており、安心して出産・育児ができる職場作りを目指して活動しています。2012年には、春闘や労使協議により、育児の家族的責任の対象範囲が改定され、小学校を卒業するまでの子に拡大しました。まだ私自身は出産・育児の経験はありませんが、男女平等参画、ワークライフバランスの実現など、あらゆる観点において、とても重要な取り組みであると考えます。同じ職場で働く仲間の生活を守り、安心して出産・育児を迎えられる職場を作れるよう、公正処遇・均等待遇の実現に向け、ともに頑張りましょう！！